

授業科目

芸術

【担当教員名】 丹治 嘉彦	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・栄養・スポ・看護・社会
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：GIO>】

様々な価値が混在する現代社会において、芸術表現は多様な表現形式を見せている。例えば、今まで美術館という場でしか鑑賞することができなかった芸術作品が、我々の生活の中においてさえも見る事が出来るようになってきた。メディア表現やインスタレーションといった類の表現が、我々の生活の中で目にするようになったもの、芸術作品等が一定の場所や特定の人々のものではなくなったことに言い換えられるだろう。この授業は芸術の成り立ちを考察しながら、現代社会において芸術がどのように機能してきたのか、あるいは芸術とは何なのかを現代社会の有り様を見据えながら論じていく。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】

現代社会において芸術の役割を認識し、人が生きる上で必須であることを確認する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	芸術（絵画、彫刻）作品を、スライド等を用いて説明		
2	現代社会における美術・アートの意義		
3・4	芸術が現代社会にどのように作用しているかを検証する。（スライド等）		
5・6	美術館における作品鑑賞。		
7・8	社会とアートとの新たな関係		
9・10	屋外制作（スケッチ）		
11	芸術行為の意義		
12・13	自分自身が今を生きているということを踏まえて、芸術の意義をそれぞれの視点で発表する。		
14	まとめ		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	なし			
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 定められたレポートの提出。 美術館鑑賞の出席等によって評価する。	【履修上の留意点】 スケッチブック等の簡単な表現様式の準備。
---	-----------------------------------